

平成 25 年度「提案公募型事業」申請書類(2)
< 受 託 申 請 書 >

ふりがな 団体名	絵手紙を楽しむ会							
ふりがな 代表者名	谷本 雅子							
募集期間 (該当を○で囲む)	第1期 / 第2期							
事業の分野・テーマ (該当に●印・複数可)	○	【 ○ 】 心地よく安心な港まちで暮らす					公募要領の 「2委託対象 事業」を参照	
		【 △ 】 魅力的でにぎやかな港まちに集う						
		【 □ 】 みんなと港まちを創る						
提案事業名	絵手紙をみんなで楽しむ							
希望金額=A ※5ページ・6ページの Aと同額を記入		3	8	9	4	5	0	円
期間 (準備～事業終了日)	平成 25年 9月 1日 ~ 平成 26年 2月 28日							

【提案事業の計画】 ※ 簡潔かつ具体的に記入してください。

(1) 事業の目的・見込まれる成果

上記で選択した事業の分野・テーマ(○・△・□)について、具体的にどのような目的を持ち、どのような成果を見込む事業であるか、詳細に記入。

この企画では、絵手紙を通して地域の交流を図り、子どもから高齢者がお互いを知り合える場づくりを目指します。

ネットや電話を使った交流が主流になった今、直筆の温かい絵手紙を使ったコミュニケーションを図ることができます。

自分で描いてうれしい、もらっても嬉しい素敵な絵手紙を作成します。

西築地だけでなく、西福田でも開催することで相互の地域交流も深まると思います。

(2) 事業の概要

絵手紙教室を西築地と西福田の二つの学区で、計4回開催します。

(3) 事業の具体的な内容と方法〔内容、実施日・実施場所、想定参加者等〕

1. 内容

絵手紙講師として、港区在住の吉田禮子さんをお招きし、ご指導していただきます。

ペットボトルや葉書に、季節等のテーマに沿って絵を描いてもらいます。

初心者の方も多いと思いますので、まずは線の引き方などを練習してから実地にはいり、

丁寧にサポートしていきます。誰もが気軽に味わい深い作品を作ることができます。

創作活動を通じて、参加者同士のコミュニケーションを深めることができます。

2. 実施日・実施場所(屋外で実施する場合は、雨天時の対応も記入してください。)

10月(ランプシェード・ペットボトル) 西築地コミセン

11月(年賀状) 西築地コミセン

12月(ランプシェード・ペットボトル) 西築地トワイライト

2月(ひな祭りに関係するもの) 西福田コミセン

3. 想定参加者人数・参加者層

10月: 主に西築地と西福田の大人を対象 30名程度。

11月: 主に西築地と西福田の大人を対象 30名程度。

12月: 主に西築地の子供を対象(トワイライト) 30名程度。

2月: 両学区の子どもから大人まで 30名程度。

(4) 広報手段

チラシを作成し、西築地と西福田の女性会ネットワークで広報をします。

○西築地と西福田の女性会ネットワークによる口コミ広報。

○両学区の学区連絡協議会に対して広報協力を依頼。

(5) 事業のスケジュール(準備～実施～実施後の実施運営スケジュール)

9月初旬 チラシの作成・広報スタート

9月中旬 教室の準備、講師打ち合わせ

10月 第1回教室開催、講師打ち合わせ

11月 第2回教室開催、講師打ち合わせ

12月 第3回教室開催、講師打ち合わせ

2月 第4回教室開催

(6) 事業の運営体制(スタッフの役割・人数や委託外注の活用等による運営体制、地域との連携など)

谷本 雅子 (全体統括)

後藤 まつよ (書記)

後藤 てる美 (全体統括補助)

足立 恵美子 (全体統括補助)

若松 多美子 (会計)

【事業のアピール】

次の各項目は審査基準と同じで、審査の判断材料となります。事業のアピールポイントを具体的に箇条書きで記入して下さい。(公募要領の12の審査基準の欄を参照してご記入ください。)

(1) 実現可能性

- ・ベテラン講師による指導なので、とてもわかりやすく、楽しい教室になるとおもいます。
- ・何回も教室を開催しているので計画、予算、スケジュールも問題ありません。
- ・参加体験型の企画なので交流も生まれ、テーマに沿った事業だとおもいます。

(2) 積算の妥当性

- ・はじめての試みではないので、予算の見積もり方に無理はないとおもいます。
- ・誰もが参加できるよう、身近な材料を使用しているため、継続可能な予算になっているとおもいます。
- ・交流から地域の活性化のまでつながる企画なので、適切な事業だとおもいます。

(3) 公益性・社会貢献性

- ・たくさんの会員同士と一緒に作成を行うことで、地域に交流の場を広げることが可能だとおもいます。
- ・絵手紙の持つ温かさが見た人に伝わり、新しい交流が生まれていくとおもいます。

(4) テーマとの整合性

- ・絵手紙の持つ魅力は、やってみたいから見てもらいたい気持ちになることだと思います。
- 集まって絵手紙作りに取り組むことで、自然に参加者同士の交流が生まれます。これこそがテーマに挙げた地域住民同士がつながっていく、という柱にそい、地域の広がり大きく貢献するものとおもわれます。

(5) 将来性

- ・住民同士の交流から外へと発信する場を作ることで、将来性は見出せるとおもいます。
- その時に港まちづくり協議会との連携は不可欠であるとおもいます。

(1) 支出の部

項目	金額(円)						
①外部講師謝金			6	0	0	0	円
②旅費交通費			1	7	2	0	円
③会議費						0	円
④物品購入費		1	3	3	0	0	円
⑤借上料			1	2	0	0	円
⑥保険料				7	2	5	円
⑦人件費		1	3	0	0	0	円
⑧委託外注費						0	円
⑨通信費						0	円
⑩印刷製本費			1	0	0	0	円
⑪事務費等			2	0	0	0	円
総支出合計=A (港まちづくり協議会からの委託契約金額合計) (1ページのAと同額かご確認ください)		3	8	9	4	5	円

- ※ 参加費を徴収する事業の方は、参加費で充当される予定の品目は入れないでください。
- ※ 参加費で充当される予定の品目は、(様式1)の【徴収される参加費に相当する事業費】に計上してください。

(2) 対象経費明細 ※対象経費明細のエクセル形式(様式2)の使用も可能です。

項目	経費の内訳 人数、単価、数量、回数等の明細を具体的に記入してください。
①外部講師謝金	講師 @15000×4=60000
6 0 0 0 0 0 円	
②旅費交通費	スタッフ買出し 市バス・地下鉄(往復)@860×5名×4回=17200
1 7 2 0 0 0 円	
③会議費	0 円
0 円	
④物品購入費	顔彩(絵の具)@3500×15=52500・筆洗い@600×15=9000・ 筆・大 @500×30=15000・小@400×30=12000・画仙紙@50×200=10000・ 用紙代10000・パレット@500×15=7500・墨汁1000・電池式ランプ@200 ×80(30人分×2回・予備10個×2回)=16,000
1 3 3 0 0 0 0 円	
⑤借上料	コミセン使用料@4000×3=12000
1 2 0 0 0 0 円	
⑥保険料	教室参加者保険料×4回 スタッフ保険料5名分 (概算)
7 2 5 0 0 円	
⑦人件費	事前打ち合わせ 5名×@2000×5回=50000 買出し 5名×@2000×4回=40000 当日スタッフ 5名×@2000×4回=40000
1 3 0 0 0 0 0 円	
⑧委託外注費	0 円
0 円	
⑨通信費	0 円
0 円	
⑩印刷製本費	チラシ 1000部(西築地:500部、西福田:500部)コピー代 @10×1000部=10000
1 0 0 0 0 0 円	
⑪事務費等	筆記用具、インク代、ビニール袋概算
2 0 0 0 0 0 円	
総支出合計=A	1ページ・5ページのAと同額かご確認ください
3 8 9 4 5 0 円	